## 2012年12月5日 多摩大イブニングセミナー 「図で考える大学職員は仕事ができる!」

物事を点で見てしまいがちな場面が多く、今日から新しい考え方を始めてみたいと思います。まずは、自分と、自分の仕事から。

久恒先生のイブニングセミナー 面白い 分かりやすい 活力 必要 上手く表現できるよう「考え」続けます。

「多摩大学は何万人もの受験生を集める必要があるのか?」という問題提起を私は持っておりました。お話を聞き、その必要はないと思いました。オンリーワンを目指すことが大学の生き残りにおいて大切だと思います。

人文科学・社会科学・自然科学の図解に目からウロコ でした。図解の良さが凝縮されていたように感じました。

考えることが沢山ありました。私もCDAですがキャリア 理論は腑に落ちないものも確かに多くあります。自分 なりの解釈をつけていくのがよいのかなと思います。

仕事を図にすること、さらには自分だけで納得するのではなく他の職員と認識を共通にすることが非常に大切であることが分かりました。自分から行動を起こし、組織が同じ方向に向かえるよう取り組みたいと思います。

新しい視点で考えることができたと思います。今までは物事を平面で考えることが多く、それぞれの事からの関係をあまり重要視していなかったのかもしれません。論理的に物事を考える上でも、図解思考は重要であると感じました。

私自身、ソーシャルメディアに弱いのですが、克服していきたいと思います。図書館でも電子書籍の利用に向けて対応を進めていきたいと考えています。